



岐阜工業高等専門学校 教育後援会通信

編集：教育後援会事務局

第31号

平成28年12月20日発行



2016年10月29・30日
第52回高専祭



あがら

地区懇談会に参加して



教育後援会副会長

山崎 宣次

11月6日に開催されました岐阜地区会場に参加させていただきました。岐阜地区は地元の地域であるため、毎回多数の保護者の皆様にご参加いただいております。

校長先生のご挨拶の中で、学生寮の規約改正をはじめ、様々な改革に取り組んでいただけたとのお話がありました。先生方のご報告の後、専攻科の分科会に参加させていただきました。海外インターンシップの話題が中心でしたが、各国でのインターンシップの様子等を交流することができました。お忙しい中、先生方や保護者の皆様、ありがとうございました。

私は、過去5回ほど懇談会に参加させて頂いた記憶があります。が、正直なところ愚息が小中学生の時はほとんどこのような懇談会に参加したことはありませんでした。愚息が高専入学当初は進級や卒業後の進路など不安ばかりで、とにかく先生方にいろいろ教えて頂きたく懇談会に参加したことを覚えております。毎回、先生方大変ご丁寧な説明があり、また、上級生の保護者のアドバイスがあり、参加するたびに不安が解消された思いがあります。あまり懇談会に参加されていない保護者の方々は、ぜひ今回の懇談会にご参加ください。

最後の保護者見学会

5年生 保護者

今回で4回目の、そして最後の保護者見学会に参加してきました。

今年の見学先は、一般には見学を受け入れていないという、滋賀県一高いタワーのあるフジテック本社工場(ビッグウィング)でした。普段、何気なく利用しているエレベータの作業工程や生産設備の丁寧な説明を受け、お仕事されてる様子を見学してきました。世界のエレベータ・エスカレータを生産しているだけあって、社内、工場、社員、全てに渡り、安心・安全の行き届いた管理がされてるという感想を持ちました。もちろん、地上170mのエレベータ研究塔にも上り、琵琶湖をはじめ広大な景色も見てきました。

移動のバスの中では、先生方のお話と学年・学科を超えた親さんのお話で、有意義な時間を過ごしました。私自身もそうでしたが、子どもの学年によって悩みや疑問は様々。特に下級生の親さんは上級生の親さんから、進学あるいは就職情報を得るよい機会だと思います。

来年は是非参加してみてください。

校長先生からの挨拶



保護者見学会に参加して

4年生 保護者



フジテック概要説明会

した。工場見学だけでなく岐阜高専が身近に感じた有意義な1日でした。

工場見学では、最新の技術、5Sの行き届いた製造現場しかり、試験棟最上階の床に開いた窓からの風景(特にロゴ)は印象的でした。今回、受け入れて頂いたフジテック(株)様もこれだけの大人数を受け入れたのは初めてとのこと。岐阜高専の諸先輩方の仕事ぶりが認められたからかも知れません。

最後に企画・運営に尽力いただいた事務局の皆様、関係者の皆様方に「感謝」。

7月7日(木)七夕の日に保護者見学会に参加させていただきました。私は4年目にして初めての参加です。滋賀県にあるフジテック株式会社本社工場「BigWing」への見学会と聞いて、個人的な興味で保護者会そっちのけで有給を取ってまで参加を希望した次第です。

3台100名以上もの大所帯での行き帰りのバスの中、校長先生はじめ、諸先生方に各学科の様子や進路状況のお話を伺いました。車中や昼食時に学年・学科の枠を越えた保護者の方々との交流もあり、総会や地区保護者懇談会とは違ったいろいろな話を訊くことが出来ま



フジテック概要説明会

地区保護者懇談会に参加して

4年生 保護者

各地区保護者懇談会にご足労いただきました先生方、開催に向けお骨折りをいただきました役員の皆様に、この場をお借りして感謝申し上げます。

懇談会は、学校の動き、進学や就職動向を先生方から直接伺うことができ、保護者同士の情報交換することができる貴重な場として、夫婦で毎年参加させていただいております。

子は4年生になり、未だ進路を気にかけない姿に親として大変心配しておりますが、懇談会では、寮生活や通学の話なども多数あり、子が1年生だった頃、寮生活に馴染めるのか夫婦で話していたことなどなつかしく思い出しました。

このたびの懇談会では、岐阜バスが穂積駅－高専間のバス運行に対するアンケートを実施したとの情報がありました。アンケートの目的は全くわかりませんが、この区間でバスが運行されれば、岐阜高専の学生はじめ周辺の高校生やご近所の方々も大変便利になります。

これは、バス会社や樽見鉄道の収支にも直結する難しい問題でしょうが、これに限らず子の安全にも関わるこういったことこそ、私たち保護者（大人）が協力していかなければならないのだと強く感じました。



地区懇全体会

はじめて参加した地区保護者懇談会

1年生 保護者

11月19日土曜日、西濃地区の保護者懇談会にはじめて参加させていただきました。

まず、全体的な校務報告を校長先生はじめ研究主事の先生にご説明していただきました。学生をとりまく環境や状況が理解でき、少しでも改善できる点は改善できるよう諸先生方が尽力していただいていることがわかり、有意義でした。

その後、各学科に分かれての分科会があり、各学年の保護者が集い意見交換させていただきました。個人一人一人の学校生活の不安や疑問に、ひとつひとつ丁寧に適切に熱のこもったアドバイスを分科会の先生や上級生の保護者の方が答えて下さり、とても楽しく時間を忘れて情報交換ができました。今後も地区懇談会に多くの方がご参加下されば、更に楽しい時間が過ごせるのではと感じました。

最後に休日にもかかわらず参加して下さった諸先生方、様々さご手配を下された事務局の方々に感謝申し上げます。ありがとうございました。



地区懇分科会

海外インターンシップ報告

先端融合開発専攻1年 伊 藤 大 樹

私はインドネシアのバンドン工科大学(以下ITB)で3週間実習を行ってきました。現地での生活は主に7月に岐阜高専に来ていた3人のITBの学生にサポートしてもらいました。インドネシアは蒸し暑いイメージだったのですがバンドンは過ごしやすい気候でした。しかし熱帯特有のスコールには度々被害にあいました。

ITBでは研究活動を主として行い実習最終日には研究発表も行いました。ITBの学生はほとんど英語が使えるのに驚きました。日常会話だけでなく専門分野についても対応してもらえました。また、1人1人の学習意欲がとても高く感じられました。休日にはバンドン周辺の加工スポットに連れて行ってもらいました。インドネシアはイスラム教の文化が強く毎日数回の礼拝や豚肉やアルコール禁止などがありました。今回の実習では日本では経験できない生活を送ることができ、コミュニケーションの大切さを学び、英語の重要性を再認識しました。この経験は今後必ず役に立つと思います。



先端融合開発専攻1年 野 田 米 太

イギリス北部のダラムという町にあるTYK Limited にて3週間の実習をさせていただきました。

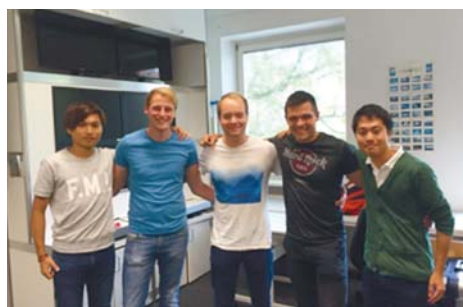
工場にはイギリス人従業員しかおらず、会話はすべて北部訛りの英語でコミュニケーションをとるのにとても苦労しました。しかし、現地の方々は日本のことなどをたくさん聞いてくれたのでたくさん会話をする機会がありました。おかげで言葉が通じなくても知っている言葉やジェスチャーを使って相手に伝える度胸が身に付きました。

自由時間には電車などで近くの町に行き城や大聖堂などイギリスの文化を見ることができ、そこでも培った度胸で店員とコミュニケーションをとることができ、自由時間を大いに楽しむことができました。



先端融合開発専攻1年 河 崎 拳 吾

私はドイツのハノーファー大学で3週間のインターンシップに参加させていただきました。主な実習内容としては、気象学系の研究室に配属され、リンデンバークという土地でのドローンやスモークを用いた気象観測や大学内で温湿度計を用いた簡易的な実験を行いました。また、休みの日には、ハノーファー大学の学生が、色々な場所に連れて行ってくれました。ブンデスリーガのサッカーの試合を観戦したり、美しい建築物を見学して、ドイツの文化に触れることが出来ました。ドイツは、地域毎に市庁舎のデザインやビール、ソーセージの風味が異なっていて新鮮でした。最初は多少の不安もありましたが、とても充実した3週間を過ごすことが出来ました。このような貴重な機会を与えてくださったハノーファー大学のグロス教授、ならびにその関係者の皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。



海外インターンシップ報告

先端融合開発専攻1年 大 野 宏 尚

私はマレーシアのジョホールバルにあるマレーシア工科大学(Universiti Teknologi Malaysia)にて3週間のインターンシップを行いました。マレーシアは様々な宗教が混在する多民族国家です。私は今回の実習で初めて国外に出たので、新しい環境に最初は苦労しました。特に英語でコミュニケーションを取ることが難しく、自分の知っている単語に置き換えたり、ジェスチャーを使うことで何とか意思の疎通を図ることができました。また放課後や休日には、現地の方々が様々なところに連れて行ってくださいました。マレーシアの国技であるバドミントン、マレーシアの伝統料理、ナイトマーケットと短い実習期間でしたがマレーシアの文化や伝統を体感することができました。今回の実習を通して、国際的なコミュニケーション能力が得ることができ、そしてこの能力は今後の人生に役立つものであると思います。このような貴重な体験をさせていただき、現地の方々及び関係者の皆様に深く感謝します。



先端融合開発専攻1年 牧 野 聡

中央アジアに位置するウズベキスタンのトリノ工科大学に3週間の実習を行いました。渡航するまでは初の中央アジアということもあり不安が多くありましたが、生活してみて大きく変化しました。言語としてはウズベク語とロシア語を公用語としているため英語は大学内でしか通じないという環境でした。滞在中は不慣れな英語で会話することに苦戦していましたが日を重ねていくうちに【英語で会話することが出来るしあわせ】を感じるようになっていました、実習では木の板材からロボットアームの製作を行いました。また、週末には現地の家に招かれ文化的行事に参加したりとウズベク人になったかのような素晴らしい体験をすることが出来ました。最後にこのような貴重な機会を設けて下さった関係者の皆様に深く感謝申し上げます。



先端融合開発専攻1年 三 輪 昌 徳

私はアメリカのアイオワ大学で約1ヶ月過ごしました。今回のインターンシップでは主に研究活動と研究施設の訪問を行い、研究活動ではブラックシリコンを用いたソーラーパネルの開発、実用化について研究をしました。また、毎週金曜に開かれる会議にも参加をし、自己紹介やアイオワ大学での活動内容の報告、意見交換などを行いました。研究施設訪問はたくさん回ることができ、National Driving Simulator (NADS)では、自動車運転場面における人間行動特性を計測し、解明するための研究をしており、運転の自動化、道の設計などにへの応用について、Iowa City Airportでは、無人の航空機やヘリコプター、パイロットのための飛行シミュレーションシステムなどがあり、こちらでも自動操縦を主な目的として研究活動をされていました。



行事予定

◆教育後援会行事予定

平成29年4月16日(日) 教育後援会役員会 10時30分～(平成28年度役員)
5月20日(土) 教育後援会総会 13時30分～

◆主な学校行事予定

1月 4日(水)～9日(月) 第51回全国高専体育大会(ラグビーフットボール:神戸市立)
9日(月) 冬季休業終、開寮 13:00
10日(火) 開講、補講・補習(1～4年)月曜授業(5年・専攻科)
11日(水) 補講・補習(1・2年)平常授業(3～5年)
12日(木) 国立高等専門学校学習到達度試験(3年:数学、物理、、午後平常授業)
13日(金) 寮生成人祝賀会
14日(土) 寮生スキー研修
22日(日) 第50回吹奏楽部定期演奏会(羽島文化市センター)
28日(土)～29日(日) 全国高専英語プレゼンテーションコンテスト(東京)(主管:宇部)
2月 6日(月)～10日(金) 後期期末試験(5年)
7日(火) 補講・補習(1～3年)、平常授業(4年)
7日(火)～10日(金) 後期期末試験(専攻科)
8日(水)～9日(木) 補講・補習(1～4年)
10日(金) 補講・補習(1～3年)、平常授業(4年)
13日(月)～17日(金) 平常授業(5年・専攻科)
13日(月)～21日(火) 後期期末試験(1～4年)
17日(金) 大掃除(1・2年)
20日(月) 休講
21日(火)～28日(火) 特別研究補講(専攻科)
22日(水) (授業終了後)校長講話、副校長訓話、学生会総会
22日(水)～28日(火) 平常授業(1～4年)
28日(火) (授業終了後)大掃除、学級指導
3月 1日(水) 寮生部屋替、閉寮 17:00
1日(水)～17日(金) 休講
17日(金) 第50回卒業式(本科)、第21回修了式(専攻科)、閉講
18日(土) 学年末休業始
31日(金) 学年末休業終、後期終、学年終

発行:岐阜工業高等専門学校・教育後援会事務局

〒501-0495 岐阜県本巣市上真桑2236-2 TEL.058-323-8752

FAX.058-322-6571

E-mail gnctk@iaa.itkeeper.ne.jp